

エンド オブ ライフ ケア

日米の在宅エンドオブライフケアの現状から これからの看護職者の役割を考える



2018年の診療報酬改定を受け、在宅・施設でのエンドオブライフケアはますます推進されてゆくことになります。今回は日本・アメリカでエンドオブライフケアに取り組まれている医師・看護師の先生方をお招きし、それぞれのお立場での実践例をご紹介します。さらに、今後日本の在宅エンドオブライフケアで看護師に期待される役割や可能性について、パネルディスカッションを行います。

講演 「エンド オブ ライフ ケアにおける看護師の役割
～アドバンス・ケア・プランニングから看取りまで」
ラプレツィオーサ 伸子 先生
(ジェファーソンヘルス・ホームケア・ホスピス、米国)

「日本の在宅におけるエンド オブ ライフ ケア～医師の
立場から」
二ノ坂 保喜 先生 (にのさかクリニック、福岡)

「医療機関から見た日本の在宅エンド オブ ライフ ケア」
乙坂 佳代 先生
(横浜総合病院 地域医療総合支援センター退院支援部門、横浜)

お問い合わせ
東京医科歯科大学大学院
保健衛生学研究科
看護キャリアパスウェイ
教育研究センター
HP: <http://www.tmdncp.com>
e-mail: office.ncp@tmd.ac.jp
Facebook:

日時 2018年3月21日 (水・祝日) 13:00-16:30 (開場12:30)
場所 東京医科歯科大学 3号館 18階 講義室1
対象 テーマに興味・関心のある医療職
本学の学部学生、大学院生
定員 100名 (先着順)
参加費 無料
お申込 下記サイトよりお申し込みください。
<https://jp.surveymonkey.com/r/20180321>



主催: 東京医科歯科大学大学院 保健衛生学研究科 看護キャリアパスウェイ教育研究センター

共催: 東京医科歯科大学 がんエンドオブライフケア看護学、医学部附属病院看護部、未来がん医療プロフェッショナル養成プラン (順不同)